

「車上ねらい」被害に遭わないために

車の中に貴重品、置いてませんか？

車上ねらいは、ドアロックの有無にかかわらず発生しています。

車から離れるときに鍵を掛けるのはもちろんですが、鍵を掛けても同じくらいの人が被害に遭っています。

車は、移動の手段で金庫ではないということをもう一度確認し、車を離れるときには、必ず貴重品を持って歩きましょう。



車上ねらい被害に遭わないための4つのポイント

1 自分だけは被害に遭わないという考えを捨てる

自分だけは被害に遭わないという根拠のない考えを捨てましょう。

2 短時間でも管理された駐車場に止める

防犯カメラや警備員のいる管理された駐車場に止めましょう。

3 車の中にバッグを置かない

貴重品が入ってなくてもバッグ等が見えるように置いてあるだけで、犯人に狙われ、車の鍵を壊されてしまいますので車内の見えるところにバッグを置くのはやめましょう。

4 車の中に貴重品を置かない

車は金庫ではありません。
車の鍵は技術があれば、簡単に開いてしまいます。
車の鍵を過信せず、貴重品は持ち歩きましょう。



それでも被害に遭ってしまったら...

その場から警察に通報しましょう。

何も取られないからといって警察に届けないと、後から被害に気がついたとき、犯人の残した証拠が何も無くなってしまいますので、できるだけ、車に触らず、その場から警察に通報しましょう。

クレジットカードやキャッシュカードが盗まれていたら、金融機関等に連絡しましょう。

クレジットカードやキャッシュカードが盗まれていたら、すぐに各金融機関やクレジットカード会社に連絡し、取引停止の措置を取ってもらいましょう。



